

# 2017年度事業計画

(2017年1月1日～12月31日)

法人名称 NPO 法人 教育支援グループ Ed.ベンチャー

## 1. 事業活動方針

新自由主義的風潮が、私たちの日常生活の中に格差として、目に見える姿を現し始めている。それは、大手を振り、政治をも牽引しながら、その風潮を一層強めているように見える。経済が政治を主導する社会状況の中で、社会的公正に向けてEd.ベンチャーは、どのような活動に取り組むべきか。

2017年の新・行動宣言のもとで、上記の問いに答えつつ、各種事業に取り組みたい。

## 2. 事業内容

### 学校支援事業 ①理論学習会

事業概要	<p>本学習会は、教員の実践を中心に各テーマを設定して行う。学校を取り巻く世の中の状況は厳しさを増し、広がり続ける差は、弱い立場にあるものがさらに追い込まれるしかない状況を生み出している。大変さや困難さを抱え日々を生きる子ども達にとって、学校、集団の意味とは何なのか。教員自身がまずは、知ること、語ること、実践につなげていくことで、その答えは見えてくるのではないかと思われる。</p> <p>社会の現況に目を背けることなく、目の前の子ども達に向き合ってきた教育の実践家たちが見てきたこと、考えてきたことに触れ、そこから得た視点をもって、教育現場の今を見据える力、自己の実践を振り返る力を養いたい。</p> <p>理論と実践を紡ぎ、子ども達が進んでいく社会イメージをもって議論を深める場として本学習会が充実したものとなるよう、テーマの設定を検討し、直接子どもに働きかけられる立場にある学校や教員のもつ可能性を、今年度はさらに模索していきたい。</p> <p>〈年間予定〉</p> <p>4月10日 「いじめの構造」(講演:日本女子大学 清水睦美先生)</p> <p>5月 8日 「主体的な子どもの学びー生活綴り方と自己表現」</p> <p>6月 5日 「ホームレス問題からみる貧困」</p> <p>7月 「女性の貧困」</p> <p>8月 「綴り方の実践について」</p> <p>9月 「女性の貧困」</p> <p>10月 『貧困児童』(文献講読:加藤彰彦さん)</p> <p>11月 「子どもの貧困」(講演予定)</p> <p>12月 「大和の実践」(報告:小中学校教員の実践報告)</p>
------	---

事業目標	大和市で働く教員として、学校で出会う子ども達や親が抱える大変さの背景や、学校を取り巻く世の中の状況を知った時、どのように子どもに向き合うべきか、貧困、弱者といった共通テーマのもとに各分野の教育の実践家の話を聞き、現場の課題を捉え実践につなげる力をつけたい。各テーマを深め、「実際、学校現場はどうか、子どもはどうか。」と、現場の事例と引き合わせ、自分なりの解釈をもって自分の学校や子どもについて話せる場として学習会を設定したい。
活動代表	●馬場有希 ●村本綾
開催日時	毎月第一月曜日 19:00～21:00
場所	大和市文化創造拠点シリウス
対象者	教員を中心に、教員志望の学生、市民
収入予定金額	45,000 円 (参加費)
支出予定金額	82,222 円 (諸謝金、賃借料、印刷製本費、消耗品費)

## 学校支援事業 ②授業研究会

事業概要	<p>昨年度授業実践を行った際に、労働状況や社会背景の実態と子どもたちとの感覚にズレを感じた。その実践を、本年度は、子どもたちを取り巻く社会実態を知るために、現代社会に潜む「貧困」をテーマにした授業を行うことで、「労働教育」を進める上での土台としたい。その上で労働に関する授業を行うことで、現実を想定した困り感をもとに、疑問や課題に迫れるのではないかと考えている。そして、「労働教育」の授業を行うためには、さまざまな切り口があるため、昨年度とは違った視点や方法の授業づくりを考えていきたい。実際に授業実践を行うことが最終目標である。指導法の事例が増えることで、小学校における「労働教育」の普及、さらには中学校での普及にもつながるのではないかと期待している。</p> <p>継続的な研究のために、メンバーを固定化した方が考えを深めていけると考え、今年度はチームを作り研究を進めていく。</p> <p>5月25日 講演会「なぜ労働教育は必要ようか」 (労働教育研究会 高須裕彦氏)</p> <p>6月22日 講演会・パネルディスカッション 「学校における労働教育をどうやって浸透させるか」(仮) (労働教育研究会 高須裕彦氏)</p> <p>7月13日 オリエンテーション・授業検討会 8月31日 授業検討会 10月19日 授業検討会 11月 授業実践 12月14日 まとめ・報告会</p>
事業目標	小学校段階での労働教育の授業を検討する

活動代表	●下新原なつみ ○三澤律子 ○村本綾
開催日時	原則 木曜日開催 19:00～21:00（授業検討会は 19:30～21:00） 5/25、6/22、7/13、8/31、10/19、11/16(未定)、12/14
場所	富士見文化会館(講演会2回) 大和市文化創造拠点シリウス（授業検討会他）
対象者	教員
収入予定金額	55,000 円（参加費）
支出予定金額	39,310 円（諸謝金、賃借料、印刷製本費）

### 学校支援事業 ③スタディツアー

事業概要	<p>現在の教育情勢や社会状況に関する場所へ出向いて学習を行う。</p> <p>貧困や格差という社会を巡る問題に、子どもたちも振り回されている。それは、「食」に関わる場では、「食べられない」というだけでなく、大人のような事情により孤食になってしまい、それが子どもたちの心へも影響を与えている。今年度は、そのような課題に対する取り組みをしている、大和市内で開催されている「こども食堂」への訪問を計画している。「家庭」が抱える子どもの問題を、「地域」の立場から支援する形を学習する。また、学校現場の中だけではわからない、子どもたちが抱える課題を可視化し、認識する機会とする。</p> <p>① こども食堂の実情を学び、訪問に向けて視点を整理する事前学習会を実施する。</p> <p>② 現地の訪問は、施設規模の制限があるので、参加希望者を週ごとに振り分け、活動に参加する形で行う。</p> <p>③ 訪問を振り返るまとめの事後学習会を実施する。目の前の子どもたちについて、「食」に関わる視点から見直す機会とする。</p>
事業目標	今日的な教育課題や社会状況の現場を実際に訪れることで、日常の課題を広い視野から考えることができるようにする。
活動代表	●池田喬
開催日時	<p>事前学習会 9月21日（木）19:30～21:00</p> <p>ツアー 10月5日、12日、26日、11月2日（木） 17:30～19:30 ※各日ごとに、3～4名の参加とする。</p> <p>事後学習会 11月9日（木）</p>
場所	<p>事前・事後学習会 渋谷学習センター</p> <p>ツアー 地域家族しんちゃんハウス（子ども食堂開催場所）</p>
対象者	教員 教員希望者 市民
収入予定金額	15,000 円（参加費）
支出予定金額	900 円（賃借料）

## 学校支援事業 ④産休・育休・働くママ・パパのための学習会

事業概要	<p>大和市内では若い教員が年々増えており、今後子育てをしながら働く世代が多くなると予想される。育休中は現場から離れていることで復帰後の不安を感じたり、教育問題を考える機会が極端に減ったりする教師も多い。また、復帰しても仕事と育児をこなすことに追われ、学習する場所も機会もないのが現実なのではないか。そのため、本事業では産休・育休中、または働く母親や父親が限られた時間の中でも学習できる場を設定する。</p> <p>本学習会は毎回2部構成で開催する。第1部では、理論学習会での内容をコーディネートし、教育に関する問題を取り上げ、現場への復帰を視野に入れながら共に考える機会をつくる。母親が学びたいと思う内容を吟味して、組み立てていきたい。</p> <p>第2部では、悩み相談や育児に関わる情報交換をする時間を設定する。社会から切り離されているように感じ、孤立しやすい育児中の母親が、人とのつながりをつくり、情報交換ができる場にする。また、前年度に話された育児中の制度について、資料等をもとに学習する。</p> <p>現場で働く担当の立場から、今年度はより現場の様子を詳しく伝え、復帰後の不安を取り除けるようにしていきたい。</p> <p>時間帯は育児中の母親や父親が来やすいように設定し、母親が子どもと一緒に学習会に参加できるよう、子育てアルバイトの学生と連携を取っていく。</p> <p>初回の4月には、参加者がどのようなことを学習したいかニーズ調査を行い、それをもとに残りの4回の学習内容に反映させていく。8月には講師を依頼し、仕事と子育ての両立に関する講演会を行いたいと考えている。</p> <p>4月22日 オリエンテーション          6月24日 学習会①／育児中の制度について          8月26日 講演会          11月25日 学習会②／先輩ママの体験談          2月3日 学習会③／まとめ</p> <p>また、本事業では学習会以外に保育アルバイトのコーディネートを担う。</p>
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間帯や保育体制を整えることで、産休・育休中の母親でも学習がしやすい場所を提供する。</li> <li>・第一部では、現場から離れている母親に向けて、教育に関する問題を取り上げ、考える機会をつくる。</li> <li>・第二部では、育児に関わる制度や先輩ママの体験談など、復帰への不安を取り除ける情報を提供する。</li> <li>・社会から孤立しやすい母親が、人とのつながりをつくる場所にする</li> </ul>
活動代表	●清水美希 ○下新原なつみ
開催日時	年5回 原則第4土曜日 10:00～11:30

	4月22日(土)、6月24日(土)、8月26日(土)、11月25日(土) (2018年2月3日(土))
場所	大和市文化創造拠点シリウス
対象者	産休・育休中、または働きながら子育てをしている教師
収入予定金額	10,000円(参加費)
支出予定金額	93,637円(消耗品費、諸謝金、賃借料、印刷製本費)

## 学校支援事業 ⑤外国人の子ども理解のための学習会

事業概要	<p>大和市には、数多くの外国にルーツをもつ子ども達が暮らしている。しかし、来日経緯や家庭の状況、普段子ども達がおかれている環境を知る機会が極めて少ない。そこで、学習ボランティア希望者や、学校教員を対象に夏4コマ×2日間、秋4コマ×2日間、計16コマ学習会を行っていき、外国人の子ども達が置かれている状況や課題を理解し、様々な教育現場での学習支援に役立てていくために、学習会を開催していく。</p> <p>学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大和市の外国人児童、生徒の実態とそのための外国人支援の仕組み</li> <li>・ すたんどばいみーは、なぜ立ち上げられ、何を担おうとしているのか？ (8月・1月 すたんどばいみー 西岡歩氏)</li> <li>・ 国際教室から見る外国人児童、生徒の実態</li> <li>・ 外国にルーツをもつ子どもの言語獲得 (8月・1月 日本女子大学 清水睦美氏)</li> <li>・ 出身国の違いによる外国人児童、生徒の抱える課題を知る (8月 日本女子大学 清水睦美氏、職業能力開発総合大学校 坪田光平氏) (1月未定)</li> <li>・ 外国人としてアイデンティティを獲得するための困難さ (8月 すたんどばいみー 劉麗鳳氏、1月 すたんどばいみー 宮脇英理氏)</li> <li>・ 今までの学習を振り返っての討論</li> </ul>
事業目標	学習ボランティア希望者や、学校教員が「大和市の外国人児童、生徒」が抱える課題の理解を深められるような学習会を企画運営する。
活動代表	●前田拓郎 ●すたんどばいみー(西岡歩)
開催日時	夏：8月9日(水)10日(木) (秋：2018年1月6日(土)7日(日))
場所	大和市文化創造拠点シリウス
対象者	学習ボランティア希望者、学校教員など
収入予定金額	0円
支出予定金額	47,410円(諸謝金、消耗品費、賃借料、印刷製本費)

## 学校支援事業 ⑥特別支援教育のための学習会

事業概要	<p>「障がい」をめぐる社会的状況は、最近の10年で大きく変化してきている。2005年に発達障害者支援法が施行し、自閉症、アスペルガー、学習障害、ADHDといった障がい名が世の中に広く認知されるようになった。2007年度からは、学校教育における「障がい」をめぐる教育も、特殊教育から特別支援教育へと名称変更した。他方、2016年からは障害者差別解消法が施行された。にもかかわらず、7月26日には相模原障がい者施設では障がい者の殺傷という凄惨な事件も起きている。</p> <p>このような「障がい」をめぐる社会的状況を背景として、学校では「障がい」に対し、どのような対応がなされているのであろうか。あるいは、「障がい」は「どのように扱われ、どのように処理される傾向があるのだろうか」という問いのもとに、学校現場で起きていることを振り返ってもいいのかもしれない。</p> <p>本事業では、社会の中における「障がい」の位置づけ方を批判的に検討しつつ、学校の中での「障がい」への対応の基本的なスタンスのあり方を探りたいと考える。そのために、本年度は、特に「発達障がい」を対象として、学校での支援の可能性を探っていくことを目的として、次のような事業に取り組んでいく。</p> <p>4月28日（金）講演会「発達障がいを知る」 講師：松風園臨床発達心理士 海老原裕美氏</p> <p>6月1日（木）講演会「障害者差別解消法」を知る 講師：横浜法律事務所 弁護士 向川純平氏</p> <p>7月 市内小中学校の特別支援教育の実態 講師：市内小中学校の特別支援教室担当者</p> <p>8月21・22日 スタディツアー「べてるの家」訪問 8月29日（火）「べてるの家」の訪問のまとめと文献講読 12月1日（月）特別支援に関する重要文献の講読会</p>
事業目標	「発達障がい」を中心としながらも、「障がい」に対する理解を深められるような研修を企画・運営する。
活動代表	<p>●三澤律子 ●すたんどばいみー（劉麗鳳） ○森尾宙 ○西岡歩 ○清水睦美</p>
開催日時	事業概要参照
場所	大和市文化創造拠点シリウスを中心とする
対象者	教員
収入予定金額	80,000円（参加費）
支出予定金額	89,474円（旅費交通費、諸謝金、賃借料、通信運搬費、消耗品費、雑費）

## 外国人支援事業

### ⑦子どもの居場所・学習支援教室（エステレージャ・ハッピー教室）

事業概要	<p>就学前幼児、小学生、中学生の外国人児童生徒を対象に学習支援を行いながら、子どもに何らかの困難や課題が見られる場合にはその背景にあるものを探り、必要であれば関係機関との橋渡しを行うなど、子どもに寄り添った支援のあり方を模索する。</p> <p>2017年3月までは2016年度の体制を維持する。2017年4月以降、従来よりもきめ細かく子どもたちに対応することを目指して、教室の体制を以下のように変更する。</p> <p>(1) 登録制の導入：教室に参加する子どもの上限（18人程度）を設ける。 3月に保護者も交えた面談を行い、教室の体制の変更について周知を図るとともに、教室の方針を説明する。参加費として、1か月100円を学期ごとに徴収する。連続3回欠席した場合には、状況を把握するために家庭訪問等を行い、背後事情や課題の発掘を行う。またそれらの情報共有を図る。</p> <p>(2) 学期制の導入：1学期（4～8月）、2学期（9～12月）、3学期（1～3月）の3学期制として、8月、12月、3月にそれぞれ保護者も交えた面談を行い、教室での様子を伝えるとともに、学校や家庭の様子等を聞き取り、情報の共有を図る。また、教室への次学期の登録希望の有無を確認する。面談の開催にあたっては必要に応じて通訳を手配し、通訳には謝金を支払う。</p> <p>(3) 毎回の教室の開催に当たって、スタッフは30分前に集合し、各子どもに合わせた教材の準備を行う。教室後のミーティングは簡素化し、申し送り事項の確認程度とする。</p> <p>(4) 教室終了後に母語で話ができる時間（現在は英語）を引き続き開設する。子ども達のニーズに応じて英語以外の言語にも対応できるようにしていく。</p>
事業目標	<p>&lt;小学生教室&gt; 教科学習支援として、宿題の他、国語・算数を中心に、学年ごとに習得すべき内容の教材を使用した学習の支援を行う。就学前～低学年児童に対しては、日本語の語彙や日本語による経験を補うことを目的として体験的な学習を積極的に行う。4年生以降の児童には、上記に加え、学習だけではなく、家庭や学校の話の聞いたり、学年を超えた集団授業などを工夫する。</p> <p>&lt;中学生教室&gt; 中学生に対しては、普段の学習支援の他、定期テスト対策、高校受験支援を行う。また、必要に応じて定期テスト対策のための学習会を不定期に開催する。</p>
活動代表	<p>●篠原弘美 ●馬場貴司 ○角替弘規 （事業スタッフ） 内藤順子 吉間里依 保坂克洋 ガマラ・ヒロシ</p>

	相模女子大学ボランティアサークル「ミント」 井上哲夫
開催日時	<就学前～小学生>毎週土曜日 10:00～12:00 <中学生>毎週土曜日 10:00～12:00 定期テスト前 平日週1回 18:30～20:00 年10回程度 中3受験対策学習会 12月下旬 個別対応 随時
場所	大和市立林間小学校学校開放、鶴間コミセン、勤労福祉会館、シリウス等
対象者	就学前～中学生の外国人の子ども
収入予定金額	21,600円（参加費）
支出予定金額	406,224円（消耗品費、賃借料、業務委託費、諸謝金、印刷製本費、旅費交通費）

## 外国人支援事業

### ⑧子どもの居場所・学習支援教室（厚木・座間教室）

事業概要	小学生・中学生・高校生の外国人児童生徒を対象として学習支援教室を開催する。
事業目標	小学生に対しては基本的な読み書き・計算の習得を目指す。理科や社会に関しては必要に応じて対応する。 中学生に対しては英語と数学を中心に学力の向上を目指す。定期試験前には他の教科にも対応する。 高校生に対しては卒業あるいは卒業資格取得を目指す。 学習の目標達成のために精神面の支援にも気を配りたい。
活動代表	●福島聖子
開催日時	土曜日 15:00～17:00（暫定）
場所	あつぎ市民交流プラザ（アミューあつぎ）
対象者	厚木市・座間市在住の小学生～高校生の外国人
収入予定金額	2,400円（参加費）
支出予定金額	30,200円（賃借料、印刷製本費、消耗品費）

### 外国人支援事業 ⑨保証人事業

事業概要	外国人学生が、外部の奨学金を受ける際の保証人を用意できない時に、「保証人グループ」を構成して、保証人を引き受ける事業である。希望者が現れたら、進学目的や将来の見通しを確認した上で、保証人を引き受けるかどうか決定する。保証対象者に対しては、1月と7月の報告会で、生活状況や返済状況を確認するが、特に心配される保証対象者とは、月1回の面談を行い、より丁寧に確認していく。
------	---

事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奨学金を希望する外国人学生が、保証人が見つからずに進学をあきらめるということがないように、事情を確認した上で支援を行う。</li> <li>・保証対象者との定期的な面談の中で、生活状況を把握し、必要に応じてアドバイスを行い、返済が滞ることのないようにする。</li> </ul>
活動代表	●神戸芳子 ○すたんどばいみー（西岡歩）
開催日時	① 定例報告会 1 / 28 (土) 16:30～19:00 基金の会報告会と合同開催 7月 (日時未定) ② 個別面談 毎月26日前後 ③ 臨時保証人グループ会議 必要に応じて開催
場所	渋谷中学校開放「下和田の郷」、大和市文化創造拠点シリウス、当法人事務所
対象者	保証対象者3名（高校奨学金1名、日本学生支援機構1名、国際医療福祉大学熱海病院看護師奨学金1名）
収入予定金額	0円
支出予定金額	500円（賃借料）

## 外国人支援事業 ⑩すたんどばいみー基金

事業概要	「すたんどばいみー」など、外国人当事者団体で活動する大学生及び大学院生に対して、高等教育に関わる費用の貸借に関する事業を行う。これまで対象の中心であった「すたんどばいみー」のNPO化に伴い、基金事業の移行を模索するために、内規の変更を行い、報告会を、「すたんどばいみー」と共催できる方向を探る。
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・借り受けから寄付への変更を呼びかける。</li> <li>・寄付を増やす。</li> <li>・返金を遅滞なく受け取る。</li> <li>・すたんどばいみーとの連携事業を行う。</li> </ul>
活動代表	●すたんどばいみー（チャンソワンナリット） ○内藤順子 ○清水睦美
開催日時	① すたんどばいみー基金の会（2017年1月28日16:30～19:30） ② 返金・寄付（適宜） ③ すたんどばいみーとの協議（適宜）
場所	① 渋谷中学校学校開放 ②③事務所・適宜
対象者	返金：貸与者 寄付：市民
収入予定金額	0円
支出予定金額	15,200円（印刷製本費、通信運搬費）

※「すたんどばいみー基金」の貸与・返還は、例年どおり特別会計として行う。

## 普及啓発事業 ⑪教育相談

事業概要	<p>学校相談、教師相談、保護者相談、外国人当事者活動相談の4部門に分け、内容に応じて必要なグループを立ち上げて相談に応じる。相談内容については、活動報告会で報告し、社会的に弱い立場にある者に必要な支援のあり方を探っていくような場を設ける。</p> <p>2016年より3件の相談は継続扱いとする【相談1・2・3】</p> <p>特に相談3の厚木保健福祉事務所からの委託事業に関しては、「子ども支援事業」として新たに位置づけることを検討する。</p> <p>2017年より、新たに多言語通訳者派遣事業を行う。</p>
事業目標	相談を通じて、社会的に弱い立場にある者のニーズやそれに対応する支援のあり方を探る。
活動代表	<p>●松永雅文</p> <p>○神戸芳子 ○清水睦美</p>
開催日時	相談内容に応じて適宜対応する。
場所	適宜
対象者	大和市内教員・保護者・生徒、大和市内行政組織等
収入予定金額	0円
支出予定金額	2,112,990円（給与手当、福利厚生、諸謝金、賃借料、印刷製本費、旅費交通費、通信運搬費、保険料）

## 普及啓発事業 ⑫学校及び外国人支援に関する普及啓発事業

事業概要	<p>学校支援、外国人支援、子ども支援の必要性を広く市民に呼びかけるための活動を7部門に分けて展開する。</p> <p>(1) 教育講演会（2017）の開催及び教育講演会（2018）の準備</p> <p>(2) 広報「Ed.ベンだより」の作成と配布</p> <p>(3) ホームページの運営</p> <p>(4) 2017年度版パンフレットの作成と配布</p> <p>(5)他機関・他団体等との関係構築</p> <p>(6)会員に対する情報提供</p> <p>(7)研究者対応</p>
事業目標	今日の社会状況を踏まえて当法人の活動を位置づけ、社会的に弱い立場にある者の支援の重要性を普及・啓発していくこと。
活動代表	<p>●角替弘規</p> <p>○下新原なつみ ○前田拓郎 ○池田喬 ○清水睦美</p>
開催日時	<p>(1) 教育講演会（2018）の準備（7月頃より講演内容検討開始）</p> <p>(2) Ed. ベンだより発行：2、4、6、8、10、12月（年6回）</p> <p>(3) ホームページ公開（更新随時）</p>

	(4) 2017年度版パンフレット配布：4月 (5) (6) (7)随時
場所	当法人事務所・富士見文化会館等
対象者	(1)当法人理事を中心とする希望者 (2) (4)会員、当法人関係機関、大和市内の学校機関 (3)一般公開、(5)随時、(6)会員、(7)随時
収入予定金額	90,000円（参加費、書籍販売代）
支出予定金額	524,082円（印刷製本費、業務委託費、通信運搬費、消耗品費、旅費交通費、諸謝金、賃借料、会議費、雑費）

### ⑬法人の事業円滑実施のための活動

事業概要	法人の事業円滑のための活動を5部門に分けて行う。 (1) 法人内の事業相談 (2) 活動報告会の開催 (3) 会計 (4) 総会・事業記録・事務所管理 (5) 東日本大震災支援・反原発関連活動
事業目標	事業円滑実施のために活動し、事業の質を確保すること
活動代表	●清水睦美 ○武内敏子 ○すたんどばいみー（チューブサラーン） ○角替弘規 ○神戸芳子 ○篠原弘美 ○小西永里子
開催日時	(1) 事務局会議（原則月2回） (2) 活動報告会（原則隔月、年度末臨時）合計12回 (3) 会計処理（月1回）、会計確認（年3回）、会計監査（年1回） (4) 適宜 (5) 必要に応じて対応
場所	当法人事務所、富士見文化会館、大和市文化創造拠点シリウス
対象者	法人内会員
収入予定金額	0円
支出予定金額	472,000円（通信運搬費、消耗品費、賃借料、水道光熱費、印刷製本費、修繕費、租税、雑費）